2018年3月23日　日刊建設産業新聞

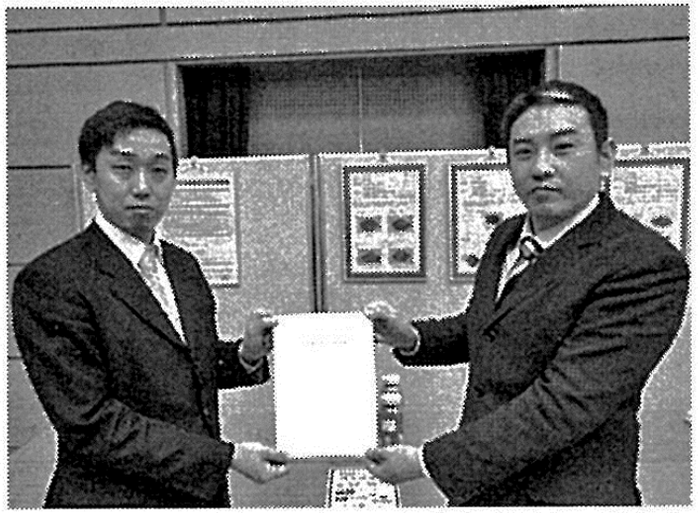
下層～上層路盤まで幅広く対応

フライアッシュ活用の再生路盤材

大成ロテック

大成ロテックはこのほど、石炭火力発電所のフライアッシュを使用した再生路盤材「RCB O-40」を開発した。アスファルト舗装用道路の下層路盤から上層路盤まで幅広く利用できる点が大きな特長。20日には、山口県リサイクル認証を受領した。

同路盤材は、石炭火力発電所から排出されるフライアッシュとセメントを混練し造粒したカノウエフエイが販売する鹿野興産（山口県周南市、田村謙治社長）の山口県リサイクル認定品「リサイクルビーズ」を使用したもの。土壌汚染対策法に規定される各基準値を含有量・溶出量ともにクリアしており、安心して使うことができる。リサイクル材の活用で、現況と同じコストで舗装構造の強化を通じた長寿命化をアスファルト舗装道路に適用できる可能性もあることから、現在、材料の特長となる一軸圧縮強度に着目し、鋭意開発を進めている。



山口県リサイクル認定証を受領